



# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年2月28日(水)  
第25巻 第29号

通巻第1059

<http://www.oamirotary.com>  
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

### 本日の例会

点鐘 会長 大越 将司  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 大越 将司  
幹事報告 幹事 星野 実  
プログラム

卓話 大網白里市長 金坂 昌典 様  
「市制100年を迎え“未来に向けて みんなでつくろう！住みたい・住み続けたいまち”」

### ニコニコBOX

大越 将司 会長  
事務局・椎名様、いつもクラブをサポートして頂き、ありがとうございます。

例会日	2月14日	1月24日
会員数	31	30
出席	21	16
欠席	9	14
M U	0	2
免除	5	7
出席率	83.87%	83.33%

### 会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。  
今日は新入会員、坂本元美様に例会に参加頂きました。同じ障がい者福祉に携わる者として、大変心強く思います。長谷川会員・泉会員はじめ、入会にご尽力いただきましたみなさまに御礼申し上げます、ありがとうございます。

さて、本日2月14日は「バレンタインデー」です。

その由来は、キリスト教の聖人「聖ヴァレンティヌス」にまつわる逸話とのこと。3世紀・古代ローマ時代、ローマ皇帝であったグラディウス2世は、愛する人を残して遠征すると兵士達の士気が下がることを理由に、兵士の結婚を禁じていたそうです。しかし若い兵士達は結婚を望み、嘆き悲しんでいました。その状況を知ったキリスト教の司祭・ヴァレンティヌスは、兵士たちの為に密かに結婚式を執りおこなったとのこと。

その後禁令に背いたことが発覚し、皇帝の怒りを買った司祭は、投獄の後処刑されました。その日が2月14日だったとのこと。

のちに、ヴァレンティヌスは愛の守護聖人として崇敬され、殉教した2月14日は「聖ヴァレンティヌスの日 (Saint Valentine's Day)」となったそうです。

海外では「恋人たちの日・お祭り」として、夫婦やパートナーに感謝を伝え、花やカードなどプレゼントを贈り合う、または「男性から女性へ」贈り物をすることが多いようです。日本のように、「女性から男性へ」という国は特殊で、私の調べた限りでは、お隣の韓国と日本だけでした。

また日本の特徴では、プレゼントは「チョコレート」一択となっていますが、これは諸説あって、昭和10年にモロゾフが外国人向けの英字新聞で、「バレンタインにチョコレートを贈りましょう」という広告コピーを掲載したのが始まりという説と、昭和33年にメリーチョコレートが行ったキャンペーンが起源など他にも諸説あるようです。

この文化のおかげでバレンタインチョコの市場規模は約1260億円、年間のチョコレート消費量の約20%をこのバレンタインデーに消費するそうです。コマーシャル 広告宣伝の威力は絶大です。

近年ではジェンダーの観点から、日本のバレンタインデーに異論を唱える方もおりますが、今日ご出席の皆様におかれましては、愛するパートナーやお世話になった方へ、男性も女性も関係なく、日頃の感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。

大網ロータリークラブとしては、日頃大変お世話になっております、事務局の椎名さんにみなさまで感謝の気持ちを伝え、私の本日の会長挨拶といたします。





大網白里市の子供達がスポーツを頑張っています。  
山武郡市の駅伝もダントツの優勝！  
伸びる子供達(原石)を支援して行きたいと思えます。

第7グループ Intercity Meeting

期日：2024年2月20日(火)  
会場：九十九里ヴィラ そとぼう



第7グループガバナー補佐 諏訪 武士様



講師：RID2550 PDG 鈴木 宏様 (宇都宮 RC)



次年度会長 幹事 発表



懇親会

新入会員挨拶



事業所名：株式会社 和光  
職業分類：福祉サービス  
代表取締役 坂本 元美様

私は、介護の仕事始めて、約30年になります。

まだ、高齢者の福祉に介護保険制度が導入される前、措置制度の時から、ヘルパーとして働き始めました。その後、介護福祉士や介護支援専門員(ケアマネ)の資格を取得し、実際にケアマネとして、また介護福祉士養成の実技指導者として働いてきました。

今から15年ほど前に、縁あって大網白里市に移り住んで、障害者の自立支援事業を立ち上げる事となりました。立ち上げ当初、私は、日中は厨房で利用者様の食事作りに奔走し、夕方になり従業員が退社してから事務の仕事をしておりました。

立ち上げから3年ほどは、一年365日休まず仕事をしておりましたので、従業員はいつも心配しておりましたが、事業が軌道に乗り、私が仕事を休めるようになると、従業員も、ほっとしたそうです。

当初は小規模で始まった事業ですが、次々に利用希望者が集まるようになりまして、年々事業規模は拡張し、今では160名を超える利用者を受け入れ、大網白里市、東金市、九十九里町で事業を展開しております。

娘は、一般の大学を卒業後、急に「医者になる。」と宣言して医学を志し、今では、医師として働いています。息子は、社会保険労務士や社会福祉士等の資格を持って、私の跡を継ごうと働いています。

以前の私は、何の趣味も持たず、仕事をする事しか能がありませんでしたので、子供たちは、「お母さんは趣味も持たないと、年を取ったときに一人ぼっちになるのではないのか」と心配しておりました。それが、65歳を過ぎてから、色々な趣味に興味を持てるようになり、その中でもゴルフは、下手の横好きになってしまい、結構な頻度で楽しんでます。

そのゴルフをきっかけに、今回ロータリークラブに入会させて頂く事に成りまして、有難う御座います。

まだまだ未熟物でありますので、何卒ご指導の程よろしくお願ひいたします。

コスモス通信より



令和六年一月十一日から十八日出迄、日々仕事に追われていた中で、十数年ぶりのスリランカ里子訪問。里子に会うことを楽しみにして飛行機に乗りました。  
小学生の瞳がキラキラと輝き、しげに下を向いていた里子。二回目の訪問で大学生になっているとお聞きしました。  
今回は空港に迎えに来てくださってありがとうございました。私より背が高く、すっかり大人の女性になっており、いかに里子に関心がなく、ただ支援だけで里子と関わっていた自分が恥ずかしくなりました。

スリランカ訪問

佐藤 広子

彼女の家は十年前と違い住宅地の一軒家で大きな家でした。以前の家は高速道路が通るので代替地とのことでラッキーなことと思いましたが、スリランカの国立の大学に入るには例えは二百人受験したら二人しか受からないとのメルビンさんの説明でした。一生懸命努力し目標に向かってコツコツと勉強している意思の強さに頭の下がる思いでした。  
支援を受けているほとんどの子どもたちは、学校が遠く自宅は大きな木々の中に建っているお隣がかすかに見えるようなお宅が多く、象の被害にいつ遭遇するかなど、大変なことはかなりの生活の中、里子さんたちの希望に満ち輝いている顔に、こちらもうれいしい思いをしました。  
千三百メートル高地の学校に大網ロータリークラブからの食糧支援をしました。支援金が校長先生の給料の一年分の金額(一〇万円)とお聞きし驚きました。一人一人の気持ちに合わせて大きな支援ができること。当クラブは素晴らしい支援を長年にわたり行っていることだけでも価値あることで、これからは仲間になって続けていけたらと思います。  
一か月日本円で二万円あれば家族が生活できるそうですが、お米、野菜と物価が高騰している今、生活も大変になってきて



大網ロータリークラブから21万円の食糧支援

いるそうです。  
私の里子さんは、もう少しで大学を卒業するので、新たな里子さんの支援をしたいと考えております。微力ですが、お役に立っていきたく思います。国が違ってもそれぞれの暮らしがあると思います。心から応援したいとお話しております。  
いつもお世話になっております鈴木先生、チケット、入出国手続き、スケジュール作成、食事などの手配ありがとうございました。  
メルビンさんは一人で広い地域のスムーズなスケジュール構成、大変だったと思います。本当にありがとうございます。